

# 家畜衛生だより

From 中央家保 豚用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会



## まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

### ～令和3年度中央家畜保健衛生所 新体制～

#### 千葉庁舎

所長 芦澤 尚義 (☆:転入者)  
次長 武石 佳夫

#### 【防疫課】

主幹 木下 智秀  
上席専門員 木下 喜絵  
技師 土肥 世生  
技師 齋藤 瞬

#### 【衛生指導課】

課長 猪俣 一陽  
主任技師 森 浩子  
主任技師 本多 芙友子 ☆  
主任技師 不破 友介  
技師 中村 みどり ☆

#### 【庶務課】

課長 山端 晶子  
主査 渡邊 なな

転出者: 山本 友裕、清田 和花

#### 佐倉庁舎

次長 篠原 栄里子

#### 【細菌ウイルス課】

課長 松本 敦子  
上席専門員 西川 潤 ☆  
専門員 橘 美奈子  
専門員 三浦 良彰  
技師 倉橋 浩一  
技師 高貫 秀幸

#### 【病理生化学課】

課長 平畠 淳  
専門員 綿村 崇宏 ☆  
専門員 小林 大誠  
専門員 小山 祐介  
技師 島田 果歩

転出者: 関口真樹、畑中ちひろ、本多芙友子

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

# ゴールデンウィークは豚熱・アフリカ豚熱等の防疫対策の強化を！

## アフリカ豚熱

今月初めには、台湾本島において初めて、海岸に漂着した豚の死体からアフリカ豚熱ウイルスの遺伝子が検出され、直近では新たにマレーシアにおいて初めて発生が確認されました。空港の動物検疫所では、輸入が認められなかった豚肉製品からアフリカ豚熱ウイルスの遺伝子検出事例が現在までに95件確認されており、そのうち4事例からは、感染性のあるウイルスが検出されています。

## 口蹄疫

平成22年以降我が国においては発生が確認されておりませんが、中国では、先月にも口蹄疫(O型)が豚で確認されました。

## 豚熱

昨年9月の群馬県での発生以降、ワクチン接種農場で92件発生しており、そのうち5件は18日間の短期間で発生しています。ワクチンのみで豚熱の発生を抑えることは困難

↓  
ワクチン接種した農場においても、引き続き発生予防対策の徹底をお願いします。

## ウイルスの侵入を防ぐため、下記事項の徹底を！

### 1 発生国への渡航の自粛

・ ・もし渡航する場合は

- 畜産関係施設に絶対に立ち入らない。
- 動物との不用意な接触を避ける。
- 卵・肉製品等を日本に持ち帰らない。
- 帰国の際には、空港の動物検疫所カウンターにて家畜防疫官の指導を受ける。

帰国後は・ ・

- 一週間は農場に入らない。
- 海外で使用した衣服及び靴は農場に持ち込まない。

### 2 衛生管理区域および畜舎内への病原体持ち込み防止の徹底

- ・ 看板の設置
- ・ 手の消毒、長靴・手袋の交換
- ・ 防護柵・防鳥ネットの適切な設置、定期的な点検
- ・ 車両消毒



### 3 毎日の健康観察→異常家畜の早期発見、早期通報

# 新年度 所長挨拶

皆様には平素から家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、昨年11月5日に香川県の採卵鶏農場で初発生し、3月までに全国で52事例の発生を認め、18県75農場1施設の約987万羽が防疫措置対象となる未曾有の事態となりました。本県でも、5市町11事例の発生を認め、13農場の約456万羽が防疫措置対象となりました。3月29日に全ての農場で防疫措置が完了し、4月20日に全ての制限が解除される見込みとなっています。今後は、発生農場再開のための検査や発生農場への手当金交付及び移動制限により損失のあった農場への補償業務を進めて参ります。

豚熱については、これまでに国内で13県67事例、108農場と4と畜場の約24万頭が防疫措置対象となっています。本県では令和2年2月17日からワクチン接種を開始、7月2日までに県内すべての農場399農場440,448頭への初回ワクチン接種を終了し、現在も追加接種を継続しているところです。一方で、豚熱に感染した野生イノシシは茨城県で5頭確認されています。国内でワクチン接種農場での感染事例が続いているところであり、飼養衛生管理基準の順守が大変重要と考えております。

牛については、豚熱対応のため検査業務に支障が出て大変御不便をおかけしたこと心よりお詫び申し上げます。昨年度中止させていただきました牛ヨーネ病の定期検査を再開させていただきますとともに、BVDやEBLの検査も徐々に実施して参ります。

これからも、当地域の畜産を家畜衛生の分野から精一杯支えて参る所存ですので、よろしく願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 芦澤 尚義

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで  
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

# 一斉消毒の日チェック表



年月日:令和 年 月 日

農場名:

住所:

チェック	番号	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1	出入車両 消毒確認	飼料運搬・動物薬販売・診療獣医師などの出入り車両の消毒を確認します。
<input type="checkbox"/>	2	立入者 衣服交換	畜舎等衛生管理区域に立ち入る獣医師・袋飼料配送業者などの専用衣服への着替えを確認します。
<input type="checkbox"/>	3	消石灰 散布	農場入口に石灰帯(全体的に白くなるよう散布)を作ります。
<input type="checkbox"/>	4	踏込み消毒 槽点検	畜舎・事務所入口の踏込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認します。
<input type="checkbox"/>	5	畜舎消毒	空の豚房、通路などを清掃し、動力噴霧器で洗浄・消毒します。
<input type="checkbox"/>	6	整理・清掃	畜舎周囲の不要品の片付け、除草を行います。
<input type="checkbox"/>	7	チェック表 送付	このチェック表を家畜保健衛生所に送付します。

その他コメント・連絡など

連絡先: 中央家畜保健衛生所

FAX: 043-286-0090

TEL: 043-250-4141

※FAXをお持ちでない方は電話連絡でもかまいません。